

ホームページをリニューアルしました

皆さん、いつもこのサイトをご覧いただき、ありがとうございます。お気付きのとおり4月1日付でこのサイトを全面リニューアルいたしました。本店のサイト内情報とのリンクを充実させたほか、各種コンテンツをできるだけわかりやすく整理することにより、皆さまが必要な情報に容易にアクセスできるように努めました。是非いろいろ試してみてください。皆さまにとって、少しでも親しみやすいサイトに生まれ変わっていたら幸いです。私どもでは、引き続き道北地域の金融や経済に関する最新の情報発信に努めてまいります。いかなることで結構ですので、ご意見やご要望をお寄せください。

4月1日に公表しました「[金融経済概況（道北地域）](#)」では、当地景気の基調判断について「厳しさを増しており、低迷している」としました。昨年12月公表分で「やや厳しい状況にある」から「厳しい状況にある」に変更し、4ヶ月続きましたが、今回は下方修正ということになります。

その理由は大きく3つあります。

第1は、同じく4月1日に公表しました「[企業短期経済観測調査（道北地域）（3月調査）](#)」における企業の業況感が大幅に悪化したことです。業況判断D.I.は前回（12月）調査比14ポイント悪化して48ポイントとなりました。加えて、売上高、収益、設備投資額といった事業計画をみても、20年度実績見込みは大幅に減少しています。先行き21年度計画では売上高、設備投資額の減少幅が減ってきており、増益を見込んでいるのが救いですが、今後の動向を見守りたいと思います。

第2に、住宅投資について、これまで「弱めの動きが広がっている」と判断していましたが、今回「大幅に減少している」と下方修正したことです。これは、旭川、網走、稚内市における建築確認申請床面積が大幅に減少しており、当面このような傾向は続く判断したからです。

第3に、個人消費について「厳しい状況が続いている」から「一段と厳しい状況になっている」へ下方修正したことです。大手百貨店の売上高は、一時的に浮上していますが、実勢とは言い難いでしょう。一方、新車登録台数が一段と落ち込んだほか、中古車も決して良好ではありません。一頃、健闘していた空港利用客数も、ここへきて苦戦を強いられています。生活防衛的な消費行動が一段と強まっているということです。これは個々の家計にとっては極めて合理的なことですが、マクロとしてとらえると、どうしてもマイナスに効いてしまいます。

改めて申し上げるまでもなく4月は新年度のスタートです。希望と不安をもった新人を受け入れた企業も多々あるでしょう。この機会に、個々の能力を高め、付加価値を高めていける人材の育成に注力すると共に、初心に帰り、我々それぞれがおかれた組織の原点・座標軸に照らし、新たな目で今何をなすべきかを改めて問い直す機会にしたいと思います。

平成21年4月1日

尾家 啓之

追伸 3月20日に第一回旭川大雪観光文化検定が実施され、道外の方も含めて750名弱の方々がチャレンジされました。試験会場では、地元企業経営者の方、市議の方、飲食店のオーナー、一般市民、はたまた私のような転勤族など多くの知り合いの顔がありました。とても熱気がありました。地元の魅力を発見しようというアイデアは素晴らしいと思いますし、テキストはとても充実しています。今後、地元経済活性化のためにもなると確信しています。雪解けも間近です。今回受験できなかった方も含めて、地元の魅力再発見の旅に出ようではありませんか。